

第4回 浜北北部中学校運営協議会

令和7年2月7日(火)
浜北北部中学校尽力ホール
13時30分～15時30分
全体司会：教頭

1. 会長挨拶
2. 校長挨拶
3. 学校運営協議会参加者確認

委員	山本 忠雄	会長
委員	池谷 真也	副会長
委員	和田 安彦	
委員	矢野 陵子	
委員	室内恵理香 (欠席)	学校支援 CD
委員	鈴木 貴子	
委員	加藤 悦子	
委員	小西 雅子	PTA 副会長

<学校>

校長	中野 有哉	
教頭	松島 歩	
主幹教諭	服部 将剛	
CS 担当教職員	石島 正巳	
CS ディレクター	岡本 奈緒	学校支援 CD

4. 議長の選出
5. 前回会議録の確認
6. 熟議
 - (1) 学校関係者評価について(主幹教諭：服部)
 - (2) 来年度の学校運営の基本方針について(校長)
 - (3) 学校運営協議会の自己評価について

7. 連絡

第2期の学校運営協議会について

令和6年度 第3回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和6年12月10日（火） 14時00分から15時30分まで
2. 開催場所 浜松市立浜北北部中学校 尽力ホール
3. 出席委員 山本忠雄 矢野陵子 鈴木貴子 加藤悦子 小西雅子
室内恵理香（学校支援CD）
4. 欠席委員 池谷真也 和田安彦
5. 学校支援コーディネーター（委員外）岡本奈緒（兼CSディレクター）
6. 学 校 中野有哉（校長） 松島歩（教頭） 石島正巳（CS担当教員）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 岡本奈緒
9. 議長の選出

司会より議長を会長にお願いしたい旨を伝え、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

10. 協議事項

生徒会役員との話し合い、振り返り

- （1）生徒会より自己紹介、取り組み紹介
- （2）中学校生活について
 - ・中学生として楽しんで生活できているか
 - ・授業にボランティアが入っているがどう感じているか
- （3）読書について
 - ・どんな本を読んでいるのか、何冊くらい読むのか
- （4）地域の行事について
 - ・参加したいもの、参加しにくいものはあるか（地域清掃活動、お祭り、運動会等）
 - ・地域の特徴は何だと思うか

11. 会議記録

司会の教頭より、委員総数8名のうち6名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）生徒会より自己紹介と取り組み紹介（意見箱・貸出傘・団対抗レク・アルミ缶回収・タブレット活動配信）について資料をもとに説明があり、委員からは以下の質問があった。

小西委員：意見箱で、今年度採用になり全校に取り入れられた内容はあるか？

生徒会：理科室前の男子トイレ内が廊下から見えてしまうという意見があり、のれんが設置された。

矢野委員：大人の世界では、意見箱に残念な意見が入っていたり、貸出傘を返さなかったり壊れたまま平気で返却することがあるが、取り組み報告の中で中学生たちの意見がどれも前向きで自分たちの生活のことをしっかりと考えていることが分かる。このピュアなまま大人になっていって欲しい、見習いたいと感じた。

生徒会：意見箱は、今のところ自分たちの生活の為に使われているのでこのまま継続していきたい。

- （2）生徒会より学校生活について楽しいこと、大変なことについて資料をもとに説明があり、委員から以下の質問があった。

小西委員：団対抗レクの内容はどのように決めるのか？また、反応がダイレクトに帰ってくると思うが、へこんだりすることはあるか。

生徒会：内容はアンケートで決定する。正直へこむこともあるが、何故そうなったかを考えて次に生かせるように頑張っている。

小西委員：今年から始めた活動配信を見てみたい。自分たちの代からスタートした活動はいろいろ大変だと思う。頑張っ欲しい。

加藤委員：両立が大変だということはすごく理解できる。自分の中で解決できない時、どこに助けを求め、どのように自分の気持ちを前向きにして解決していくのか、手を差し伸べてくれる人はいるのか？

生徒会：困った内容によるが、生徒会では担当の先生。学校生活では、先生や家族に相談している。

生徒会：先生やクラスの友達。生徒会メンバーは信頼もあり頼りがいがあるので助け合っている。

生徒会：自分一人で背負い過ぎずに仕事を分担し、責任を開放するようにしている。

加藤委員：安心した。あれもこれとも思い込まず、先生や友達、家族に話せるということはとてもすばらしく大切なこと。頑張っほしい。

小西委員：いろいろ大変だと思うが、この経験が必ず社会に出て大人になっても生かされると思う。

山本会長：人柄や受け答え、持っている力は、さすが代表の生徒会役員だと思う。困った時に繋げるロープをしっかり持っている。友達の中にはロープを持っていない子もいるだろう。そういう子を見てどう思うか。

生徒会：自分たちも助けてもらっている分、自分たちがロープになってあげたい。

(3) 生徒会より、読書について一人ずつ回答があり、委員からは以下の質問があった。

鈴木委員：今、本を読まない人が多い。図書室はどのくらい利用されているのか。

生徒会：図書室の利用率が低い現状を解決しようと、図書委員が団対抗の「図書ラリー」を企画・実行している。徐々に、効果は出ている。生徒会としても昨年から「古本市場」を行っている。自分が読み終えた本と紹介カードに見どころを記入し、友達と交換するという仕組み。定期的に開催しているが参加者がまだ少なく試行錯誤している。放送や宣伝活動をして増やしていきたい。

鈴木委員：図書室は昼休みのみ開放とのこと。わが子は昼休みに外で遊びたいから借りられず残念だ。

生徒会：図書委員と検討したい。

(4) 地域活動について、生徒会より回答があり委員からは以下の質問があった。

加藤委員：先日、中瀬で「触れ合い交流会」という福祉の活動があった。独居老人と北西高のボランティアがゲームやお話をしたりする内容だ。この取り組みを中学生も一緒に地区のボランティアとして関わったら、とても良い取り組みになるのではないかな。福祉の一環としてお年寄りとの関わりを生徒会が企画すると、また違った一歩が踏み出せるだろう。お年寄りは、学生と関わることをとても楽しみにしている。是非検討してもらいたい。

生徒会：特別支援学校との交流を1年生の総合の授業で行い、福祉について学んだ。その後に実際に行えたら良いなと思う。

山本会長：これは大人の仕事だが、地域活動の中には地域の環境を良くして守っていこうというものもある。みなさんが大人になった時、そういった地域を守る活動もしてもらいたい。今は中学生らしくお祭りなどの行事を楽しんでももらいたい。

校長：意見箱から出た意見がどう動いていくのか、「寒いのでジャージ登校をしたい」という一例で紹介する。まず、生徒会から生活担当の先生に届く、その後、会議を開き先生方の意見を集約し、最終的に校長に報告し決裁をする。このようにプロセスを経て認められるという仕組み。賛否ある中で、子供たちの意見を最大限に尊重しつつ、制服が基本であることを前提に、自分で判断してTP0に合わせて着て来なさいという流れを取っている。

山本会長：大人に言っても無駄だ、ではなく必ず繋がるシステムがある。頑張っていたきたい。今回、初めての試みで膝を交えて息づかいが伝わる距離で話し合いができ感謝している。これから北部中を応援していく良いきっかけになった。

生徒会役員、退室

教育委員会：子供の意見を聴くということはすごく大切。今回、子供たちがどんな感想を持ったのか、もう一度こういった機会を作って欲しいのかを話し合っていくと、深いところが出てくるのではないかな。お互いの感触を知り、たくさんの励ましをもらいながら、見慣れない大人から褒めてもらったり、自分たちの話で笑ってもらったり頷いてもらったりすることは、とても大切だと感じた。なかなか意見をいう機会はあるようでない。今回、生徒会活動の悩みを率直に言っていたが、客観的に委員の皆さんを通して自分を見入る機会にもなり、今後発信の仕方にも変化が出るのではないかな。自分の意見を表明できるということはすごく良いことだと感じた。良い機会を作っていただき暖かく迎え入れて下さり、感謝している。これからも子供たちの意見が叶うようにお手伝いいただけたら嬉しい。

矢野委員：とてもしっかりした、さすが生徒会役員だと感じた。この子供たちが中学生の標準ではないのかもしれないが、これだけの若者がいてくれることを嬉しく感じた。

鈴木委員：我が子しか知らないもので、こんなにしっかりしている子がいるのだと切実に感じた。委員会、学級へと他の組織に下して行って、より良い学校にしていってもらえたらと思う。

加藤委員：すごくよかった。基盤になる子がしっかりしていると学校は落ち着くのだと思う。

小西委員：今日の話し合いを子供たちがどう思ったのか聞かせてもらいたい。また、CSに期待することがあれば教えてもらいたい。

室内委員：CDとして3年前に紹介したボランティアさんが現在も続けていただいていることに感謝している。CS掲示も継続していることが見て分かるのはとても良いと思う。そちらについても子供たちの意見を聞いてみたい。

会長より、CSあいさつ運動について、自己評価の提出について詳細説明があり、次回の運営協議会スケジュールを確認し、会を閉じた。

令和7年度・学校経営構想（案）

—於：第4回学校運営協議会提案—

2024.2.7

校 訓：尽力～自分のために 仲間のために

学校教育目標：高い志を持ち、夢や未来の実現に全力を尽くす生徒の育成

目指す生徒像：・確かな知識教養を身に付けている生徒（Intelligence）

・健全な心身及び恵まれた環境に育つ生徒（Well-being）

・自らを律し、仲間と協調しながら成長していく生徒（General Progress）

合 言 葉：「みんなで力を合わせて素敵な未来を創ろう」

【R7年度教育課程 2期生の導入についての提案】

※3年生は、進路指導のため、現行どおり3学期制とする。

- ・前期4月～9月、後期10月～3月（夏季休業期間を含む学期名は維持）とする。
- ・学習の評価評定を前期末に1度示し、学年末に学年評定として通知する。
- ・前期評価は、「教科の学習の記録」・「行動の記録(仮)」を印刷配布する。
- ・通信表は、学年末に印刷配布する。
- ・前期評価配布時に、教育相談（2者面・3者面談）期間を設ける。
- ・「特別活動の記録」「行動の記録」「道徳」「総合」は通年評価とし、学年末に通信表に記載する。
- ・3者面談は、1学期末（悉皆）、2学期末（自由）とする。ただし、3年生は2学期末も悉皆とする。

【その他の具体的な取り組み】

①北部中学力観（案）

【知識・技能】自分を知る・自分の特性や良さを知る（自己肯定感）

【思考・判断・表現】身に付けた知識・技能を使い自分の可能性を知る（自己有用感）

【学びに向かう力・人間性】自分の資質・能力を生かし、社会に出て何をしていきたいか知る
(自己効力感)

☆教育課程編成の視点

●北部中学力観の検討と意識付け

- ・授業における、各段階の形成的評価
- ・総合的な学習等と連動した各教科の課題設定（めあて・発問）の工夫

●「北中スタディ」の導入

- ・毎週月木、帰りの会前10分間を自主学習時間とし、基礎学力の定着を図る

②【ASKプロジェクト】生活習慣、学習習慣の健全化およびコミュニケーション力の向上

「あいさつ、姿勢、言葉づかい（ASK）」を合言葉に、正しい生活習慣、学習習慣を定着させるとともに、コミュニケーション力の向上を図る。

☆教育課程編成の視点

- R6に引き続き、学校生活全般に浸透させていく。（職員の意識付け）

- 企画（学年）部、生徒指導部、研推部それぞれでアイデアを出し、具体的な取り組みを展開する。
- 生徒（生徒会・専門委員会）レベルでの活動の推進。

③【ほくほくタイム】かかわり活動（エンカウンター）の通年実施

- ・毎週水曜日、帰りの会后20分間を予定。
- ・毎週同じ取り組み、ルールの統一、アレンジ禁止の重要性。

☆教育課程編成の視点

- 推進プロジェクトチームの編成（教務・生指・研修・養教）
- エンカウンターのルール、マニュアルの策定。教材の作成
- 年間計画への位置付け。にこにこの日との関連付け。
- 授業での生かし方の工夫。話し合い活動でのフォーマット活用。

④【北中ウエルビーイングアクション】よりよく生きるための心身の健康づくり

- ・生徒の変化を見逃さない（心の天気・心の天気モニター）
- ・「対話」を重視した生徒指導（日常的な声掛け・複数対応、保護者面談、家庭訪問）
- ・校内支援の充実と外部機関との連携
（青空教室、校内外学びの教室、発達支援 CD、SC、SSW、小学校、社福、医療機関、サポセン）
- ・健康を学び、心を育てるイベント（学校保健委員会・保健講話・命について考える日）
- ・特別の教科道徳の充実
- ・学校行事を通じて育む豊かな心（二大行事・学年行事・福祉、職場体験、儀式）
- ・落ち着いて一日を始める朝読書の推進

☆教育課程編成の視点

- ASK プロジェクト、ほくほくタイム、にこにこの日の推進
- いじめ撲滅のための取り組み
 - ・キャンペーンや集会、ピアサポートの定期的な開催。日常的な啓発活動
 - ・心の天気、心の天気モニターの継続実施
- ヒーリングタイムの導入
 - ・8:05～8:15 静かに過ごす（読書、自主学習、瞑想等、穏やかな一日を始める雰囲気づくり
 - ・ヒーリング音楽の放送。図書委員会による呼びかけ。
 - ・読書や学習をを強制するのではなく、静かに過ごす習慣づけを目的とする。

◎教師側の作業として、生活ガイドラン、自転車通学規定、いじめ防止基本方針、部活動活動時間を含む下校時間、各種チェック活動、生徒理解と手立て（取り説）、その他の見直しと精選を。

⑤【北中 Teacher's OJT】教職員研修

- ・一人1テーマ研修（センター主催の希望研修を一人1講座以上受講・年度末に最終報告）
- ・目標と指導と評価の一体化（目標の明確化・指導の充実・評価を生かす）
- ・主体的・対話的・深い学びの推進
- ・ICTを積極的に活用した授業（教育活動のDX化）・KTT（気軽にチームティーチング）の推奨

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(浜北北部中) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- (1) 学校支援活動について地域・保護者などへ呼び掛けを行い、少しでも学校と地域の繋がりに関わるができるように、委員として、主体的・積極的に努めたい。
- (2) 学校関係者評価において、必要とされる項目について前向きに取り組み、充実した協議会になるよう熟議したい。
- (3) 可能な限り行事など学校へ足を運ぶ回数を増やすことができるとよい。
- (4) 子供たちの支援活動、連携を引き続き課題とする。
- (5) 子供たちの支援活動のため、学校・地域の連携に努める。協議会に出席してもらえ先生方との意見交換も大切にしていける。委員としてできることを探していける。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校運営の基本方針に始まり、基本方針に立ち返るという循環作用を念頭に置くことで、順々にではあるが、委員同士の意識の深化がなされてきたように思う。
- ・1年目でしたので、運営基本方針など分からない所からのスタートだった。やっと少しずつ理解が深まった様に感じている。熟議するところまで自分自身が近づけていなく力不足で申し訳ない気持ちです。協議会としては活発な熟議がされていたと感じた。
- ・校長先生、各担当者からの説明を受け、各委員の思いを伝え話し合いができたと思う。
- ・影山校長の後任として赴任した中野校長による説明では、学校経営書に加除・修正がありグランドデザインも刷新されるなど役職定年までの2年間にかける思いが感じられた。
- ・今年は、1年目で何を話してよいか戸惑うこともあり、積極的な発言ができなかったと反省している。
- ・今年度は「学校経営書」を分かりやすく作成してくださり、より基本方針を明確に示してあったため、より委員とも共有できたと思う。
- ・基本方針について、授業参観や学校側からの説明を聞き、個人よりも仲間を意識する活動が多いという印象。熱い思いや実践力を伺い、本会が担っていくことについて考えることができた。
- ・「ASK」活動は、生徒にも理解しやすく、常に頭において行動することができるためとても良い取り組みだと思う。継続を期待したい。
- ・いじめ防止の基本方針について、生徒指導主事から概要説明と具体例をあげた解説もあり現状把握ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・実際に学校支援ボランティアの方々の活動を確認することができなかった。
 - ・ボランティアの方たちの必要性は、授業見学や各委員からの感想で実感できた。3年目になり継続して来ていただいていることに感謝しかない。
 - ・今年度は具体的にあいさつ運動を企画したり、生徒会本部との対談など肌で子供たちの様子を感じることができ、とても充実していた。
 - ・地域ボランティアの方々の活動も見学でき、昨年と比べ、より一歩踏み込んだ活動ができたと思う。
 - ・授業ボランティアの参観を始め、学校行事やあいさつ運動への参加。また、生徒会役員との交流会など、生徒との実際のふれあいを通して、学校運営に関わる臨場感を持つことができた。
 - ・学校支援ボランティアが入っている授業を参観できたことで多少なりとも生徒の様子や支援の実態が分かったように思い、熟議に役立った。
 - ・各種行事のご案内をいただいたが、個人的に都合がつかず、参観や出席することができずとても残念に思っている。
 - ・学校支援活動が認知されていないように感じていたが、スタート間もないことを知り、地域へ広く浸透されることを期待しています。
-
- ・学校支援活動について、実績報告を聞き少しずつではあるが確実に支援が広がっていると感じる。地域の方にもっと入っていただけると良いと思うが、人材確保は難しいのだろう。また、授業にボランティアが入った際、個々にどのような支援をしたのか、評価という観点から考えると、担任との話し合いをもつのは大変だと思う。
 - ・「CSあいさつ運動」を2回実施した。初めての開催だったが、授業参観だけでなく朝の時間帯の子ども達の様子を確認することができ、大変よかった。
 - ・生徒会本部役員との意見交換では、支援の必要性や方向性など生徒会の皆さんの思いを聞かせていただき、有意義だった。
 - ・学校という場で先生方が何を思い、どんな方法を用いて教育活動をすすめているのか、授業を参観したり、体験的に学んだりして知ることができた。その上で、直接的な支援活動は何なのか地道に知恵を出し合うことができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・継続は力。さらなる本年度までの継続が大切であると思う。
 - ・委員としての立場で情報発信することは今年度もできなかったが、地域への働きかけやC Sだよりの発刊などCDが大変よくやってくださっていることに感謝している。
 - ・職員室前の壁に「C Sコーナー」が確保されたことはありがたい。
 - ・C Sだよりや構内掲示物をC Sディレクターさんが作成してくださった意義はとても大きい。
 - ・今年度は、個人的な発信ができなかった。C Sディレクター作成による学校HPやC Sだよりにより情報発信していただいている。
 - ・CDにより「C Sだより」を発行し地域に発信できている。議事録も簡潔に分かりやすく示してくれている。
 - ・1年目なので、以前との比較はできないが、校内掲示スペースも設置され、C Sだよりの発行も含め、CDにより十分情報発信されているように感じた。
-
- ・職員室前にC S紹介コーナーが設置され、子供たちへのアピールにもなりありがたい。さらにC Sを身近な存在にしていきたい。
 - ・民児協定例会の折に、学校行事等の生徒の様子や「A S K」活動について紹介し、地域でも協力してほしい旨を伝えた。
 - ・HP、学校だより、C Sだより等で発信できているが、地域への情報発信という観点からは自治会の回覧物としてお願いした方が、一般家庭には効果があるのではないか。
 - ・C Sだより等の発信により地域への周知ができていると思うが、SNSを含めて継続的な発信をすることによって、学校関係者や地域の人たちにもっと知ってもらうことが重要ではないか。

<評価項目 4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・ 支援活動が保護者や地域の人たちにも、もっと周知できるような機会ができればと思う。
 - ・ 授業の見学や子供たちとの話し合いなどで現状の確認ができた。限られた時間ではあるが来年度も同じように子供たちの思いを直接聞けたらと思う。
 - ・ 子供たちにとってもっともっとCSが身近な存在になれるよう支援していきたい。
 - ・ 今年度、生徒会の人たちとの話し合いを設けたことは、大変意義があった。中学生の考え方や、学校生活の様子などが聞けて、大変良かった。
 - ・ 個人的には日々動きのある学校を知ったり味わったりするために、学校のブログを見ることには努めたが、学校行事やその他日常の学校を覗きに行くことが難しく、力になれない、なっていないと感じる1年になってしまった。CS活動にもっと力や時間を使えたと良かったが、仕事との兼ね合いもあり難しかった。申し訳なく思う。来年度はもっと動ける方にお預けしたいと思う。
 - ・ 事務局任せになったことが多々あったが、CSだよりの発刊やとりわけCS掲示コーナーは大変有意義であった。3年を経てもう一步動きを大きく広くして行けると良いと思う。
-
- ・ 会全体としては、取り組みやすく続けていける活動を、と始めたが、来年度は一步踏み込んだ活動ができると良いと思う。学校内の評価も含めて学校環境の向上に少しでも力になればと思う。例えば、中学生と地域の人たちが一緒になって活動するというのはどうだろうか。
 - ・ 「CSあいさつ運動」は、回数を増やし子どもたちと触れ合う場をつくっていきたい。実践の積み重ねによる支援の広がり期待したい。
 - ・ 第1期3年が終了するにあたり、協議会としての在り方や活動について総括する必要がある。学校運営にどこまで踏み込んでよいものか、常日頃から学校に出入りしているわけでもなく、年に数回の協議会で何を提言できるものか、未だに疑問が残るとするのが正直なところである。

浜北北部中コミュニティ・スクールだより

浜松市立浜北北部中学校 学校運営協議会 第10号

第3回学校運営協議会

初の試み！生徒会役員との意見交換会を開催

協議事項

(1) 生徒会より自己紹介

取り組み紹介

(2) 中学校生活について

- ・中学生として楽しんで生活できているか
- ・授業にボランティアが入っているがどう感じているか

(3) 読書について

- ・どんな本を読んでいるのか
- ・何冊くらい読むのか

(4) 地域の行事について

- ・参加したいもの、参加しにくいもの
- ・地域の特徴は何だと思うか

第3回は、協議会委員6名と生徒会役員5名による意見交換会を行いました。

協議事項は左記の4項目です。

初めての顔合わせということもあり、最初は子どもたちも大人も緊張気味。それでも、自己紹介や生徒会本部の取り組み発表を終え、委員からの質疑や激励を受けながら意見交換をしていくうちに、少しずつ会場の雰囲気も和やかになり、次第に笑顔や笑い声、意見を述べる声が響いて、大変有意義な時間となりました。

今後は、子供の主体性を大事にした学校運営協議会への参画の仕方、在り方を考えていきたいと思います。

「地域に愛される中学生＝地域を愛せる中学生」を目指し、できることを探してまいります。協議内容の詳細は、学校HPよりご確認くださいませ。

浜北北部中を応援していく
良いきっかけになった！

CSに期待すること、
もっと聞いてみたい！

人柄や受け答えがとて
も立派で関心した！

